



- ② 2月9日開催の幹事会及び総合検討部会
- ・第4次アクションプランの取組状況
  - ・中央防波堤外側外貿コンテナふ頭の整備
  - ・ストックヤード実証実験
  - ・大井北部陸橋補修工事に伴う大井車両待機場の暫定利用
  - ・中央防波堤地区における橋りょう工事など
  - ・東京港におけるクルーズ客船の誘致
  - ・東京2020大会関連施設の整備状況
  - ・東京港におけるヒアリ対策
  - ・次期アクションプランの取扱い

## (2) 船舶貨物誘致活動の推進

東京港振興使節団として次のとおり使節団を派遣し、ポートセールス活動を展開した。

派遣期間 10月25日から11月1日までの8日間

派遣先 ドイツ、スペイン、イギリス

活動内容 現地の港湾管理者や物流事業者等を訪問し、意見交換や港湾施設及び物流施設の視察など港湾情報の収集を行ったほか、ドイツでは物流事業者等を対象に「東京港セミナー」を開催した。

また、イギリスではクルーズターミナルの視察や関係者との意見交換を行った。

## (3) 客船誘致活動の推進

### ① 入出港歓送迎行事等の実施

「ザ・ワールド」、「クリスタル・シンフォニー」、「シルバー・シャドー」、「コスタ・ビクトリア」、「コスタ・ネオロマンチカ」など国内外のクルーズ客船に対して延べ31回の入出港歓送迎行事を行い、記念品を贈呈するなどの誘致活動を行った。

また、都民を対象とした低廉な価格設定による「都民クルーズ」に協力し、小笠原諸島を巡るクルーズなど5回のクルーズを支援するとともに、「全国クルーズ客船誘致連絡会」に参加し、今後の客船の動向など効果的な受け入れのための情報を収集した。

### ② 客船誘致営業活動受託業務の実施

東京都からの受託業務として、効果的且つ効率的にクルーズ客船を誘致するため、イギリス、モナコ、アメリカの海外船社を訪問したほか、上海で開催された「シートレード・クルーズ・アジア・パシフィック」に出展するなど、東京港寄港に向けた営業活動を行った。

### ③ 東京クルーズセミナーの開催

東京都のクルーズ客船誘致に対する取り組みを周知し、東京港への要望などについてヒアリングを行うため、平成28年度に引き続きクルーズ客船運航事業者や旅行会社な

どの業界関係者を対象にセミナーを開催した。

セミナーではプリンセス・クルーズ副社長による基調講演を行った。

開催日 2月1日

開催場所 帝国ホテル

主催者 東京都、東京港埠頭株式会社、東京都港湾振興協会

参加者 約60名

④ 東京クルーズ客船プロジェクトチームへの参加

東京都港湾局、東京港埠頭株式会社及び当協会によるプロジェクトチームに参加し、クルーズ客船の東京港誘致に向けた取り組みについて検討を行った。

**(4) 荷主などとの懇談会の開催**

東京港の利用促進に向けた取組みとして、荷主・船社などを対象として、使いやすい港づくりに向けた取組みなどの紹介やロサンゼルス港港湾局長による講演とともに、荷主などの意見・要望を把握し、新たな施策展開に向けた検討に資するため、「東京港のつどい」を開催した。

開催日 11月14日

開催場所 ガーデンシティ品川

主催者 東京都、東京港埠頭株式会社、東京都港湾振興協会

参加者 約200名

**(5) 都民を対象とした東京港などの見学会の実施**

① 社会科見学船による東京港案内

東京都との共同事業として、船の提供は都が、募集・案内業務は当協会が担当し、都内の小学4年生から6年生及び中学生を対象に、海上バスによる東京港案内を実施し、東京港の役割や都民生活とのかかわりなどを説明した。

119航海、146団体、10,846名の乗船者に対して案内を実施した。

② 新東京丸による東京港土曜見学会

広く都民に東京港をPRするため、新東京丸による東京港案内を行う東京港見学会を実施した。

なお、より多くの方に参加していただけるように実施回数を増やすとともに実施日を土曜日とした。

40回実施し合計1,918名の参加を得た。

③ 親子で行く！東京港高潮対策センター見学&運河クルーズ

新たな東京都からの受託事業として、高潮や津波による水害から都民の生命・財産を守る高潮対策センターの見学と東京の魅力あふれる運河を水上タクシーで巡るクルーズを実施した。

実施日 8月14日、15日、16日（各日2回実施）

参加者総数 107名

④ 東京港夜景観賞ツアー

広く都民に東京港の魅力をPRするため、公募により参加者を募集し、普段は見る機会の少ない東京港の夜景をTOKYOミナトリエ及び海上バスから観賞するツアーを実施した。

実施日 11月29日

参加者総数 215名（応募倍率35.3倍）

(6) 東京港及び臨海副都心の観光案内事業の実施

東京港及び臨海副都心を、都民はもとより国内外の多くの人々に親しまれる東京の観光スポットとしてさらに発展させるため、日の出ふ頭海上バス発着所に観光案内掲示板及びパンフレットスタンドなどを設置し、各種博物館などの施設案内や港湾局事業をはじめとする東京都のお知らせやイベントなどの情報提供に努めた。

なお、英語や中国語、韓国語などの外国語のパンフレットを配備するなど外国人に対するPR活動の充実を図った。

## 2. 情報提供等事業

(1) 会誌「東京港」及び東京港関係資料などの発行・配布・販売

- ① 会誌「東京港」（年4回発行）
- ② 「東京港ハンドブック」（和文・英文）
- ③ 「東京港便覧」

(2) 会員を対象とした東京港などの見学会の開催

① 会員向け東京港見学会・研修会

新東京丸やバスなどを利用し、東京港の現状を直接見ていただくとともに、会員企業・団体の新規採用者研修などの業務研修として活用していただくための東京港の見学会・研修会を実施した。

(ア) バスによる東京港研修・見学会（4月、2回実施） 合計82名参加

(イ) 新東京丸による東京港見学会（12月、3回実施） 合計96名参加

② 水上タクシー体験乗船会

舟運の活性化に向けた活動として、一般社団法人東京港運協会様のご協力により、水上タクシーに乗船し、東京港や運河クルーズを体験することにより、東京の水辺空間の魅力を感じていただくとともに、舟運が身近な観光・交通手段となる船旅であることを紹介する体験乗船会を実施した。

実施日 5月30日、6月1日、11月6日、11月8日（各日とも5便を実施）

参加者総数 211名

③ 東京港夜景見学会

東京港の夜景をTOKYOミナトリエ及び海上バスから観賞する夜景見学会を実施した。

実施日 11月21日

参加者 120名

④ 東京港港湾施設等見学会

中央防波堤外側新コンテナターミナルの見学会を実施した。

実施日 2月20日

参加者 93名

(3) 東京都港湾局等事業説明会及び講演会

東京都港湾局及び東京港埠頭株式会社の平成29年度事業についての説明会と東京都港湾局技監による東京港の最新のトピックスをテーマとした講演会を開催した。

開催日 4月10日

開催場所 海運クラブ

参加者 209名

<事業説明会>

① 「平成29年度 東京港埠頭株式会社事業について」

東京港埠頭株式会社総務部経理課長 安川 一生 氏

② 「平成29年度 東京都港湾局事業について」

東京都港湾局総務部企画計理課長 石井 均 氏

<講演会>

「東京港の最近の話題」

東京都港湾局技監 小野 恭一 氏

(4) 港湾事業講習会及び東京都港湾整備振興大会の開催

港湾に関する講習会及び港湾整備事業の拡大強化を図るための集会を実施した。

開催日 9月11日

開催場所 海運クラブ

参加者 228名

① 港湾事業講習会

海運業界の再編が進んでいる現状を踏まえ、海運業界の今後の展望や動向などを歴史的な変遷などからの考察を交えた講演会を開催

「外航定航業界の変遷と今後の展望」

ベン・ライン・エージェンシーズ・ジャパン株式会社社長 飯垣 隆三 氏

② 東京都港湾整備振興大会

港湾整備事業の拡大強化を図るため、都議会議員をはじめ、島しょの各町村長、東京都港湾局長ほか関係者の臨席のもと、東京都の港湾・海岸整備の振興に対する要望に関する決議文を採択し、関係機関への要望活動を実施

### 3. 東京みなと祭事業

東京みなと祭協議会事務局として、5月27日・28日の両日に、晴海客船ターミナルを中心に第69回東京みなと祭を開催した。

恒例行事のポートバザールや東京港クルーズ、珍しい船の一般公開などをはじめ、東京港内の穴場のビューポイントをバスで巡り、隠れた東京港の魅力をPRするツアーなど、東京港のPRを一層図る多彩な行事を実施した。

また、共催行事として5月21日にドラゴンボート大会を実施したほか、協賛行事として水の消防ページェントなどが実施された。

なお、本年度は新たな協賛行事として、クルーズ振興を目的とした「クルーズスタイル」が実施され、来場者にクルーズの魅力をPRした。

晴海会場への来場者数は80,000人にのぼった。

5月19日には東京港開港記念行事として、東京港港湾功労者表彰式を芝浦サービスセンターにおいて開催し、港湾功労者16名に対し都知事感謝状と記念品を贈呈した。

表彰式に引き続き、東京港開港記念祝賀会実行委員会事務局として東京港開港記念祝賀会を開催し、242名の出席者があった。

### 4. 広報関連受託事業

東京都から委託を受けて、次の事業を東京港PR活動として実施した。

#### (1) 初入港船等の歓送迎

初入港船、外国客船、国内クルーズ客船、コンテナ船などに、83回の歓送迎行事を実施した。

また、外国客船については、英文等のガイドマップを乗客、乗員に配布し、船内または客船ターミナル内にて観光ボランティアを活用したインフォメーションカウンターを開設するなど乗客、乗員に対するサービスの向上に努めた。

#### (2) 新東京丸による東京港案内

国内の港湾関係者のほか、広く都民を対象に、視察船「新東京丸」による東京港案内を実施し、東京港の将来計画や各種港湾施設の説明を通じ、東京港の機能や都民生活とのか

かわりなどの理解を図った。

319航海、1,306団体、15,042名に対して案内を実施した。

## 5. 東京臨海部広報展示室事業

これまで東京みなと館が担ってきた役割を発展させ、東京港を取り巻く新たな環境の変化に対応し、東京港及び臨海副都心の歴史や現在、未来を紹介するPR施設として、東京都により4月28日に東京臨海部広報展示室 TOKYOミナトリエが開設した。

当協会は、本年度よりTOKYOミナトリエの管理運營業務を受託し、円滑なオープンに向けた諸準備を行うとともに、オープンに先立ち、4月20日から22日まで会員を対象とした内覧会を開催した。

また、第69回東京みなと祭においては、当協会の出展ブース内でTOKYOミナトリエの紹介パネルの展示を行うなど、東京みなと祭来場者へのPRに努めた。

来室者への展示案内に積極的に取組むとともに、集客を図るため、次のとおり特別企画展を実施した。

○ 東京の島々 伊豆諸島・小笠原諸島

伊豆諸島・小笠原諸島の特産品の紹介や観光案内映像の上映

開催期間 平成29年4月28日～11月22日

○ お台場レインボー花火写真展

お台場海浜公園で開催される「お台場レインボー花火」の公式カメラマンである花火写真家 金武 武氏が撮影したお台場レインボー花火の写真展

開催期間 平成29年11月23日～平成30年1月21日

○ ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞入賞作品展

全国の小学生・中学生・高校生を対象に、海事産業の重要性を理解してもらうことを目的として開催されている「ジュニア・SHIPPING・ジャーナリスト賞」（主催 公益財団法人日本海事広報協会）の2016年度及び2017年度の入賞作品展

開催期間 平成30年1月23日～4月15日

入室者は、都民をはじめ国内外からの行政視察、港湾関連企業グループ、小中学生の社会科見学など多岐にわたり、年間入室者数は、21,585名であった。

## 6. 収益事業

当協会が設置した駐車場、自動販売機などの営業活動を実施するとともに、「東京港ハンドブック」「東京港便覧」などの東京港関係資料の販売を行った。

## 7. 会員の異動状況

### (1) 新規入会申し込み会員

入会年月日	級別	会員名	代表者 役職氏名	所在地	主な業務内容
29.10.23	4級	株式会社 日本海事新聞社	代表取締役 社長 島 雅仁	港区新橋 5-19-2	新聞発行業
29.11.17	4級	株式会社 オーシャンコマース	代表取締役 中川 圈司	港区浜松町 1-2-11 葵ビル	新聞・月刊誌発行、印刷、Web制作、出版、データ販売、AMS接続代理店業務
29.11.24	4級	株式会社 海事プレス社	代表取締役 社長 植村 史久	千代田区岩本町 2-1-15 吉安神田ビル3F	海運・造船・総合物流・客船マーケット等を対象とする報道・出版・インターネット配信、セミナー、調査、デザイン制作、HP制作、その他の関連・付帯事業

法人 3社

### (2) 退会会員

法人 2社

### (3) 会員数

310社（平成30年6月1日現在）